

令和8年度 第2回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月9日（火） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、鈴木一誠、伊藤誠一、山関ひで子、鈴木隆広
吉田さやか、郁山明日香（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 柊 通安（亀玉協働センター職員）、森田智佳（主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 町田和代
- 7 学 校 竹田良子（校長）、吉川利行（教頭）、高林圭吾（教務・CS担当）、
村瀬美恵子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 磯部、林（地域推進課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 村瀬美恵子（CSディレクター）
- 11 協議事項
（1）授業参観から
（2）スタートステージの検証と今後の取組
（3）児童の様子との報告と、今後の地域との連携についての検討

12 会議記録

本会は、委員7名のうち7名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
太田会長からは委員全員で盛り上げて活動を充実させていこう、竹田校長からは校長室での児童委員会との話し合いや命を考える朝会から子供のいい状態を実感し、更に地域・子供・職員の力をバージョンアップしたいとの挨拶があった。

議長は、名簿の順番で、太田会長が伊藤誠一委員を指名した。

議長の指示により、太田会長が前回会議録を読み上げた。委員全員で確認し、異議なく承認された。

（1）授業参観について

○委員から授業について、下記の感想と御意見をいただいた。

- ・落ち着いてきた6年生。スキニシップがいい。 （鈴木委員）
- ・先生の顔を見て学ぶ姿、自習時に自分で勉強している姿に感心した。 （吉田委員）
- ・午後の時間でも落ち着いており、タブレットの活用、自分から勉強している姿が良かった。（郁山・町田委員）
- ・授業の準備が出来ていた。タブレットの視力への影響を心配。「ふわふわ言葉の木」「一緒にやろう」がいい言葉。励まされ、やる気や仲間意識が育つと思う
（森田オブザーバー）
- ・タブレットの扱い方を知りたい。読み聞かせで子供が静かに落ち着いている。
「ふわふわ言葉の木」の掲示（子供が自分で貼る）がいい。 （山関委員）
- ・見守り時の挨拶には感心。成長の姿に頼もしさを感じている。 （鈴木一誠副会長）
- ・午後の保健室に子供がいない事に感心した。 （太田会長）
- ・子供達が動揺せず落ち着いている姿に、行き届いた指導と努力に感謝する。
（伊藤委員）

○高林教務がタブレットの扱い方について、現状を説明した。

- ・タブレットは毎日持ち帰り、家庭学習の選択肢を広げる学びを期待している。
- ・タブレットへの一週間の予定のまとめ配信により、子供に朝のゆとりが出来た。

- ・バッテリーの充電は持ち帰った時家庭ですが、長期休業中は学校で保管し充電する。
- ・タブレットの重さへの対応は、1年生は9月からとし、荷物への付加を減らす。

(2) スタートステージの検証と評価、今後の取組について

①報告を高林教務がした。

- ・ステージ制ロードマップ(3部)を作成し、児童と職員が共有する。
- ・スタートステージは、90%の肯定的な評価と受け止めがされた。

○たくましい子部

- ・下校時のトラブルがあった。通学班会でルールの確認をする。

○かしこい子部

- ・よい姿勢の確認を、全校児童で「椅子をひく・声掛け・机上の置き方」を共有する。
- ・始業前の準備と机上の整理に課題がある。
- ・タブレットの持ち帰りの意味を再確認する。

○やさしい子部

- ・挨拶が場や人が変わると返ってこないのを、挨拶動画の作成で意識を高めていく。
- ・ふわふわ言葉の見える化に向けて学年掲示をする。

②今後の取組に対する御意見を下記の通りいただいた。

○グランドデザインの実現に向け、協力していただけそうな人材・資源、等

○グランドデザインの実現に向け、学校運営協議会自身が出来るような支援、等

- ・宮口の祭り(屋台9台)には、歴史・運営・管理とメンテナンス・困り感、そして六所神社とは何かや歴史を宮司に説明してもらうのはどうか。(伊藤委員)
- ・屋台のお囃子の違いと祭りを学年毎に学ぶ。親の職業の紹介はどうか。(吉田委員)
- ・高林教務から、3年生の地域の自慢「宮口祭り」で屋台見学と、話を聞いて学んだ。児童の感想は「よけいに好きになった」だった。9台の屋台に視野を広げたい。

等の御意見をいただいた。

(3) 児童の様子と今後の地域との連携についての検討

○児童の様子と学習ボランティアの要望について、学年主任が報告をした。

1年(佐藤)給食・下校時のボランティアの協力により落ち着いた生活が出来た。

今後、水泳指導、お手玉やけん玉等の遊びに協力を得たい。

2年(小林)元気に毎日登校し、落ち着いて生活出来るように協力を得たい。

町探検・浜北図書館への電車上下車・夏野菜の調理等をお願いをしたい。

3年(原田)町探検で野口と譲栄に、万葉講座で現地に行きたい計画がある。

4年(奥出)自分達で考えて行動することに苦手意識をもっている子がいる。

水泳運動・防災教育・福祉の学習への協力を得たい。

5年(中村)委員会活動・スポフェスで成長を自覚した子供が多かった。

ミシンの授業・花の舞やバードピア見学・林間学校ポイントハイクの運営手伝いを希望する。

6年(鈴木)1年生を迎える会・スポフェス等で、子供達は成長している。

総合でお話に来てほしい。家庭科ミシンの協力を得たい。

わかば・なかよし学級(鈴木)個別対応の学習。スポフェスは学級で活動できた。

買い物学習で協力をお願いしたい。

○意見交換をした。

- ・吉川教頭から、子供達は受け身の傾向、主体性を育てたいので地域の方に加わってもらい、生き方・体験的学習(祭り等)から子供たちの視野を広げられる支援をお願い

いしたい。

- ・帰宅時間が遅くなっていないか。犬を見に立ち寄る子供がいる。 (伊藤委員)
- ・防災教育は地元の人が学校に来てもらえる。 (鈴木誠一副会長)
- ・街おこしの会員に宮口の歴史・古墳の話をしてもらったらどうか。 (太田会長)
- ・地元にある古墳・土器(文化財産)等の宝を、子供に知らせたい。 (山関委員)
- ・自宅の畑から勾玉が出た話がある。 (伊藤委員)

○通学路の変更について、竹田校長から説明があった。

児童の登下校の際、保護者の送迎の車、中学生の自転車通行と重なり、児童の安全確保出来ない現状がある。このことから通学路の変更を行いたい。この会での承認後、児童と保護者へ説明して、15日からこの通学路を歩くようにしたい。

委員からは異議もなく、通学路の変更は承認された。

13 連絡事項

(1) 次回の学校運営協議会は10月17日(土)を予定し、議長は名簿順で山関委員が依頼された。

○ 学校・地域推進課の磯部さんから話をいただいた。

特色ある学校づくりに向けた地域との連携と協力態勢を伺うことができた。特に宮口の歴史と文化「祭り」を切り口にした学習を進めていくとは、効果的だと感じた。

資料P12の「今後の地域との連携について」について、「目的」と「子供の姿」の項目を加えた方が、よりグランドデザインにマッチした実践になると考える。